

# オール・カナダ材でできる木構造 MPW、NLT、重ね梁などを展示

カナダウッド  
カナダツガ・パートナー協会

日本でカナダの木製品のプロモーション活動を行っているカナダウッド・グループは、今年の11月20日から22日の間、東京ビッグサイトでこれまでに最大の展示品を出展する事を決めた。

展示品はカナダウッド・グループがこの40年の間、日本の木造建築に相応しい構造材や構造物とし

て開発してきた物を一つの構造躯体に集約したものである。

カナダ産の構造材は1920年代に起きた関東大震災以降、日本に輸入され続けている。現在、カナダ産の構造材は日本の木造建築に欠かせない材料となっている。

カナダウッド・グループは日本国内の優秀な構造設計事務所や公的研究所等と協力し、日本の建築

現場で支障無く使用できる構造材や構造体を開発してきた。

今回展示される構造躯体の見どころは多くある。さまざまな使い方や、新しく認定された構造体など広い範囲に及ぶ。

今回展示される構造躯体は、約20坪程度の大きさで、軸組工法と枠組壁工法の両方を組み合わせて展示される。カナダ産の構造材が幅広く使える事を分かりやすく展示する躯体となる。

見どころは色々あるが、特に注目したい構造体や部材の使い方は、この2年の間に開発された部分である。

## 床構造・屋根構造

カナダのデイメンションランバー（日本市場では2×4材として広く知られている構造材）は今まではほとんどが枠組壁工法（2



屋根の構造の一例

×4工法)にしか利用されていなかったが、カナダ産のデイメンションランバーは軸組工法の躯体にも問題無く床根太や屋根垂木として使うことができる。

その他、軸組工法の骨組みの屋根構造としてデイメンションランバーを主としたプレファブ・トラスが展示される。

## MPW (Midply Wall) 壁構造 (耐力壁)

壁構造関係では、最近話題になっている「ミッドプライウォールシステム」。壁のサンプルが全部で3タイプ展示される。

